

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 業務説明

令和3年8月27日

鷹の爪団のNITE刑事



NITE刑事#1「謎の火災原因を追え！」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/ESRXRT3mZ4>



NITE刑事#2「集団幼児化事件！？」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/RW-ohbXD85E>



NITE刑事#3「カビたパンの謎！？」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/dXnOHqeCBsM>



NITE刑事#4「謎の腹痛の原因を追え」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/veN0LNLF4z0>



NITE刑事#5「対決！ネズミ坊主」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/eTiJlnHzk3o>



NITE刑事#6「さらばNITE刑事」【鷹の爪団のNITE刑事】

<https://youtu.be/nGHpjm8e98g>

N I T Eの基本理念、組織、業務

【基本理念】

確かな技術と信頼できる情報をもとに
くらしの安全と未来への挑戦を支え続けます

■「行政執行法人」型の独立行政法人（独立行政法人通則法）

- ・国家公務員型
- ・国の指示・相当な関与の下に執行
- ・毎年度国が定める業務運営目標を達成するための計画に基づき実施
- ・経済産業大臣が毎年度業績を評価

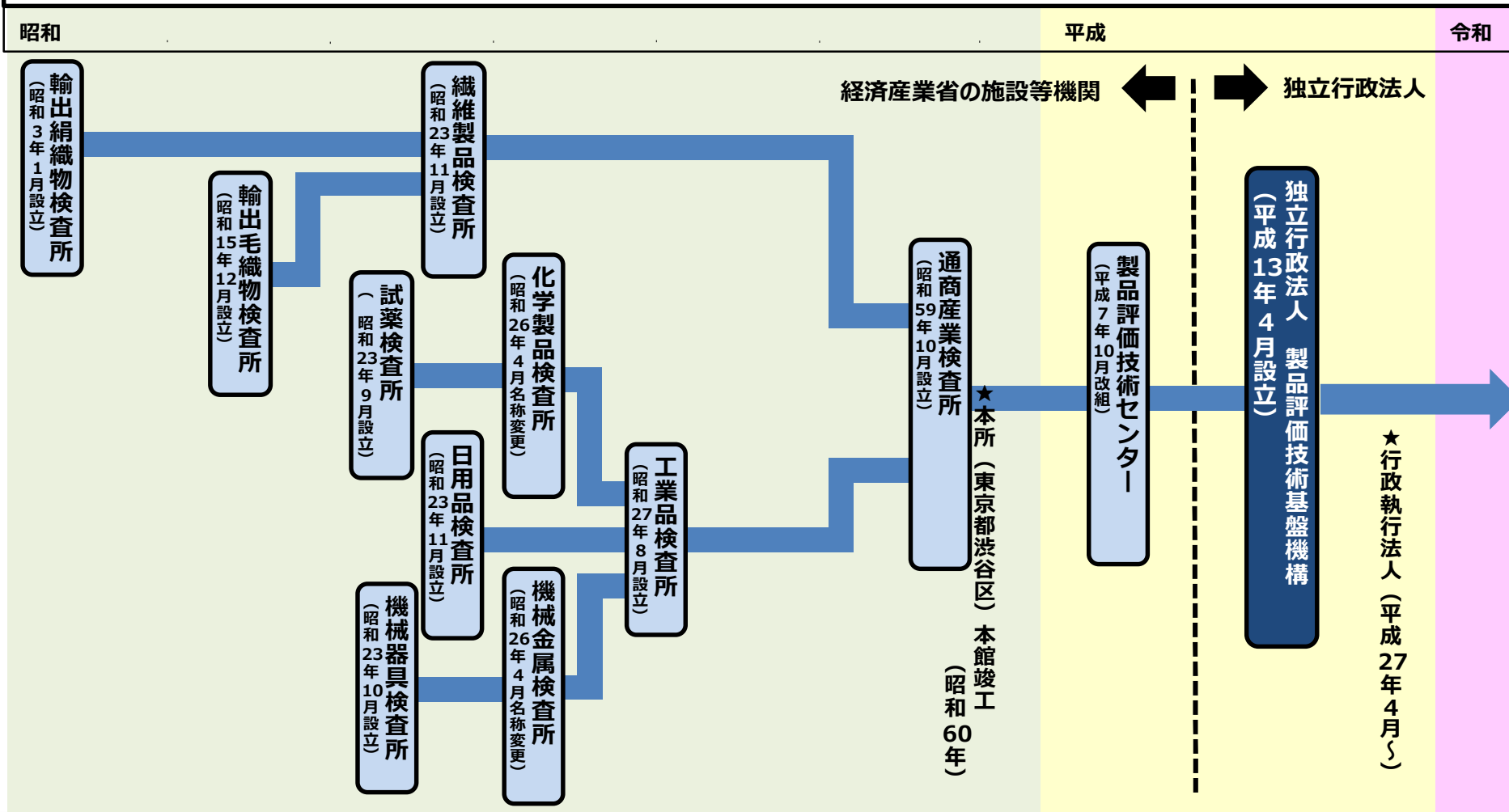
■ 機構の目的（製品評価技術基盤機構法第三条）

工業製品等に関する技術上の評価等を行うとともに、工業製品等の品質に関する情報の収集、評価、整理及び提供等を行うことにより、工業製品等の品質の向上、安全性の確保及び取引の円滑化のための技術的な基盤の整備を図り、もって経済及び産業の発展並びに鉱物資源及びエネルギーの安定的かつ効率的な供給の確保に資することを目的とする。

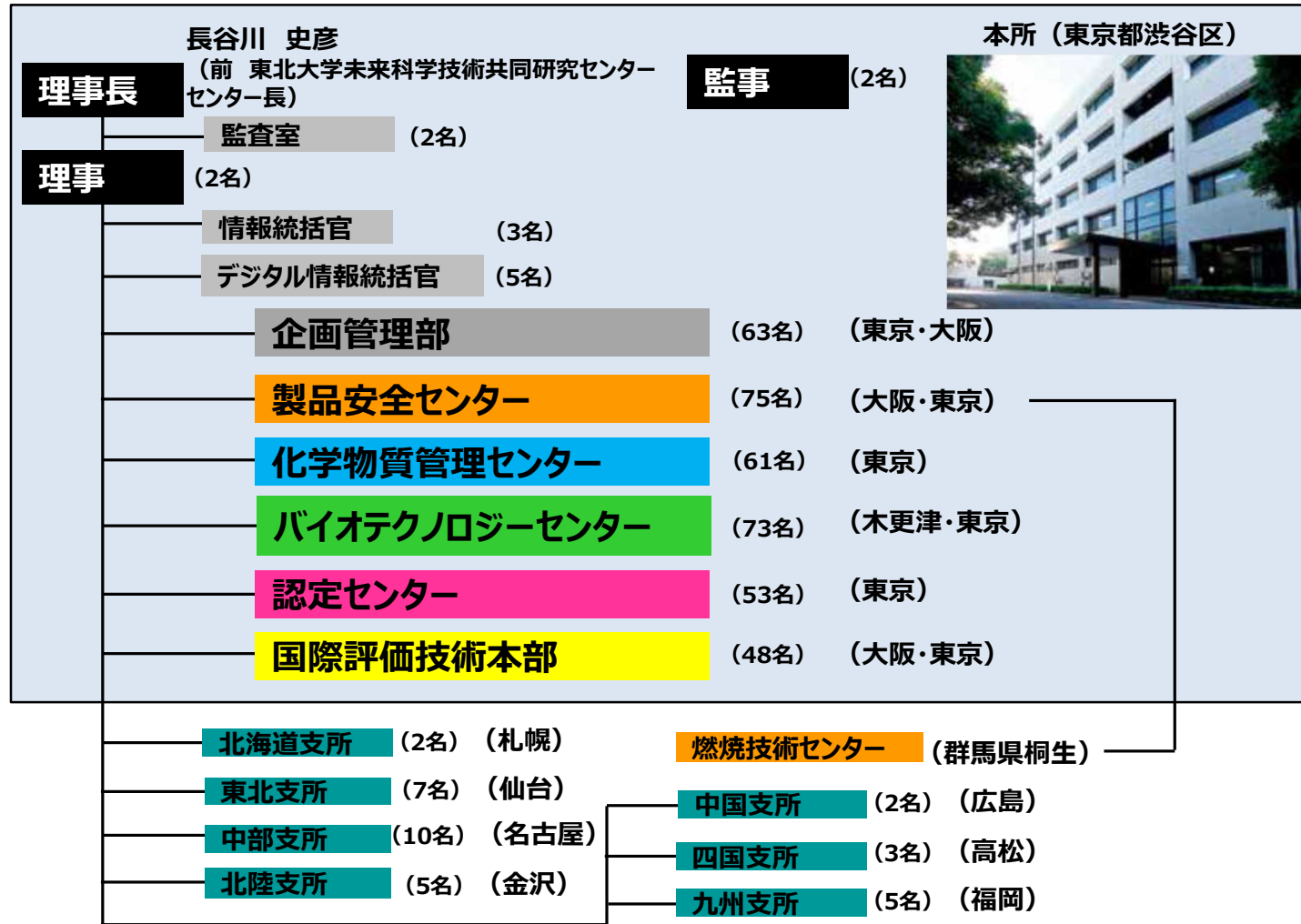
・常勤職員 417名（うち技術系職員345名・83%） [令和3年4月1日時点]

NITEの沿革

- ・前身は、昭和3年（1928年）に商工省（現：経産省）に設置された輸出絹織物検査所。
- ・組織改編を重ね、平成13年（2001年）に国家公務員型の独立行政法人としてスタート。
- ・平成27年（2015年）から経産省傘下では唯一の行政執行法人。



NITEの組織図



製品安全センター (大阪市)



(平成28年3月から業務開始)

大型蓄電池試験施設 (大阪市)



(平成28年7月から本格稼働)

バイオテクノロジーセンター (千葉県木更津市)



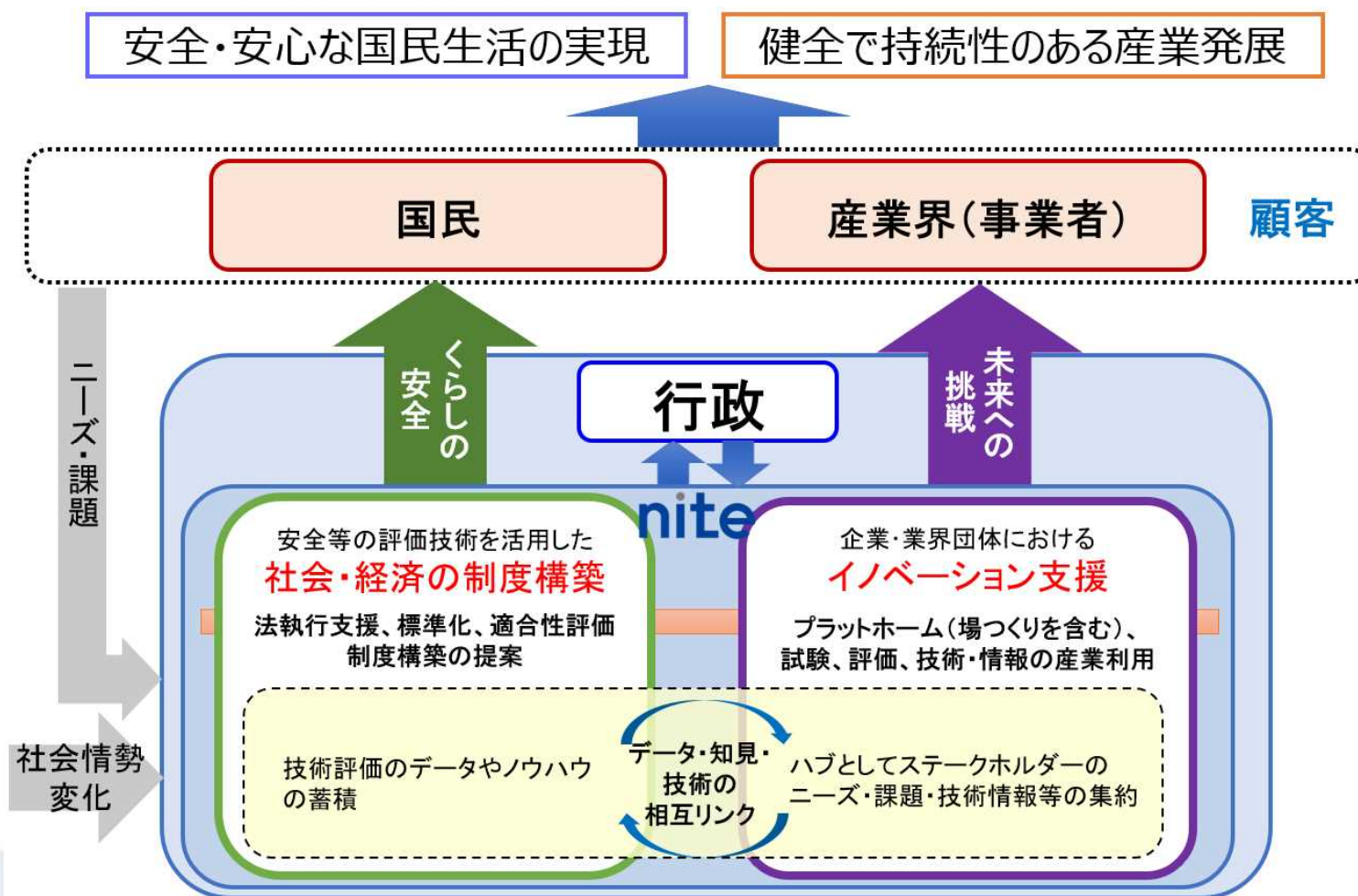
(かずさアカデミアパーク内)

(組織名の後の括弧内数字は常勤職員数、令和3年4月1日現在)

・常勤職員 **417名** (うち技術系職員345名・83%) [令和3年4月1日時点]

N I T Eと世の中との関わり（ビジネスモデル）

NITEは中期方針を作成しており、国民と産業界（事業者）に対して、**社会・経済の制度構築**と**イノベーション支援**を実施することで、世の中への貢献を目指しています。



N I T Eの業務分野の全体像

1. 製品安全分野

製品事故に関する情報を調査、分析し、再発・未然防止やリスクの低い製品開発に向けて必要な情報を発信します。

2. 化学物質管理分野

化学物質の人の健康や環境に影響するリスクの低減に貢献するとともに、国際社会の変化に柔軟に対応した化学物質管理制度の構築に向けた支援を行います。

3. バイオテクノロジー分野

生物資源や遺伝子組換え技術の産業利用における安全確保と、生物資源及び関連情報の利活用によるイノベーション促進により、バイオ産業の持続的な発展を支援しています。

4. 適合性認定分野

公的認定機関として、試験所・校正機関・製品認証機関・標準物質生産者を国際規格に基づいて認定し、試験・校正データの信頼性や製品の品質を支えています。

5. 国際評価技術分野

大型蓄電池システムやファインバブルなど、戦略的技術分野における、先進的な技術・知見等を活用した評価技術の開発、国際標準の提案、認証基盤の整備等や電気保安行政支援を行います。

METI政策：製品安全4法（消安法、電安法、ガス事法、液石法）を実行、事業者・消費者の製品安全に関する自主的な取組を促進。
達成目標：製品事故の拡大・再発防止から未然防止にいたるまで、幅広く事故防止が図られる環境を構築。

(METI 政策評価書 施策7-1「製品安全」)

消費生活用製品安全法に基づく製品事故の原因究明等により得られた経験・知見を活かして、**製品安全行政を支援**するとともに、**事業者**に再発防止を求めること等により、**事故の再発・未然防止**を図り、**重大製品事故の発生を減少**。

外部機関と連携して行う取組

消費者の安全意識向上に向けた支援

- 誤使用事故防止のための安全啓発
- Amazon、Yahoo等ネットモール事業者と連携した製品安全情報の提供
- メディアやSNS、オンラインコミュニケーションツール等を駆使した情報発信

nite ナイト（製品評価技術機構）
 【除雪機の使用時にはご注意ください】
 大雪が続いている地域の皆様へ。お見舞い申し上げます。除雪機をお使いの際は、周知を確認する、離れる際は必ずエンジン切るなどの注意をお願いします。デッドマンクラッチのついていない、古いタイプの除雪機での事故が多くなっています。
 #大雪 #除雪機



災害等に対するタイムリーな注意喚起
 (例: 大雪発生時のツイート)



コロナ等の社会情勢を意識したテーマ選定
 (例: 消毒用アルコールの引火事故)

経産省と一体となった法令執行等の取組

製品安全法令業務等の支援

- 製品事故情報の収集・原因究明調査
- 事故原因究明手法の開発
- 立入検査 等



スマートフォンの発火事故。リチウムイオン電池セルの、電極の巻きずれが原因と推定し、再発防止措置を提案。



リストバンド型ウェアラブル端末。内蔵電池が異常発熱し、手首に火傷。

カセットこんろ用ガスボンベに装着するガストーチ。漏れたガスに引火して焼損。

産業界と協力して行う取組

事業者の製品安全活動への支援

- 製品事故防止の事業者への働きかけ
- 製品事故予測システム(SAFE)
- 技術基準・規格等の提案、作成支援

- ・事故発生メカニズムの把握による安全な製品設計に反映
- ・企業における設計/開発時のSAFE実装化への検討も可能

より安全性の高い消費生活用製品の製造・輸入事業の発展

2. 化学物質管理分野

METI政策：化学物質の人・環境への悪影響を最小化する国際目標（WSSD：持続可能な開発に関する世界サミット）を受け、規制強化の方向にある国際動向を踏まえ、経済の発展と安全・安心の確保を両立するための効率的かつ効果的な化学物質管理に係る施策を実施する。

達成目標：経済の発展と安全・安心の確保を両立するための効率的かつ効果的な化学物質管理に係る施策を実施する。

(METI 政策評価書 施策7-3「化学物質管理」)

化審法、化管法等の確実な執行支援業務を実施するとともに、得られた技術的知見と情報を活用し、規制の合理化提案や化学物質管理に有用な情報の提供をすることにより、事業者の確実かつ迅速な規制対応及び化学物質管理の改善に貢献し、化学物質による人の健康や環境へのリスクの最小化と我が国産業の健全な発展に貢献。

経産省と一体となった法令執行等の取組

化学物質法令執行への支援

➤ 化審法

(化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)

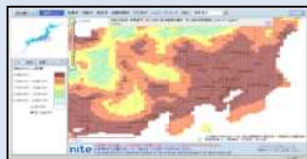
- 上市前の化学物質の事前審査
- 国内流通化学物質のリスク評価
- 立入検査 等



➤ 化管法

(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)

- 事業者から届出られた化学物質の環境排出量等の集計、解析、公表



➤ 化兵法

(化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律)

- 化学兵器禁止条約で規制されている物質を製造・使用する化学工場に対する国際機関の検査等への立会い



化学物質管理情報の整備・提供

- 化学物質ごとの日本における法規制と有害性情報等のデータベースの提供
- GHS※総合情報提供サイトを公開

※GHS: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム



- GHS分類方法
- NITE統合版GHS分類結果
- GHS混合物分類判定ラベル作成システム (NITE-Gmiccs)
- 学習コンテンツ 等

- 自治体や事業者との連携による適正な化学物質管理の促進
- NITEケミマガ(メールマガジン)

産業界と協力して行う取組

産学官連携

- AIを用いた化学物質の生分解性予測システムの開発



- 企業との連携によるイノベーション促進

- NITEの持つ「生分解性予測技術(QSAR等)」を活用したサステナブルな素材の開発支援
- 「有害性評価支援システム統合プラットフォーム(HESS)」を活用した毒性予測手法開発

化学物質による人の健康や環境に影響するリスクの低減、規制の適正化

METI政策：我が国製造業がグローバル競争に勝ち抜いていく上で必要な環境整備を実施。
達成目標：我が国製造業のものづくり機能の高度化によって、グローバル競争に向けた競争力を強化する。

(METI 政策評価書 施策2-1 「ものづくり」)

生物遺伝資源の収集、評価、整理及び提供並びに生物多様性条約に関する法的枠組みの執行支援等を通じて蓄積した技術や知見を活かし、生物遺伝資源等の利用環境を整備し、我が国バイオ産業の中長期的な発展に貢献。

経産省と一体となった法令執行等の取組

バイオテクノロジーに係る法令執行への支援

- **カルタヘナ法** (遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律)
 - ・大臣確認申請の事前確認・審査
 - ・立入検査 等
- **生物多様性条約・名古屋議定書**
 - ・条約及び議定書に係る情報提供
 - ・生物資源の日本国内取得を示す書類の発給
- **特許法・ブタペスト条約**
 - ・特許を維持するための微生物の受託・分譲 (日本唯一の機関)



微生物の生存確認



微生物の保存

産業界と協力して行う取組

生物資源とその情報の提供と産業利用促進

- **生物資源データプラットフォーム (DBRP) を通じた生物資源情報の利活用促進**
 - ・企業等が保有する生物資源の情報や、国家プロジェクトで得られた生物資源関連の情報を集約
 - ・バイオものづくりに活用可能な情報や微生物の有害性に係る情報の提供
- **生物資源の受託・保管・提供**
 - ・製品開発や品質管理等に必要な産業有用株や規格試験株を高品質かつ安定的に供給

バイオ産業におけるイノベーション創出や実用化促進に貢献



バイオ産業へのソリューション提供

- **NITEの技術を活かした社会課題への対応**
 - ・生分解性プラスチック開発への素材提供・評価技術開発による海洋プラスチック問題の解決
 - ・国家プロジェクト等を通じたバイオものづくりの促進・支援
 - ・新産業分野の創出等に係る国際標準化の支援



生分解性プラスチック (写真:株式会社カネカ)



スマートセルとAIを活用した培養制御によるものづくり

生物資源及び関連する情報を活用したバイオ産業の持続的な発展

4. 適合性認定分野

METI政策: 我が国の基準認証制度の基礎となっている工業標準の整備、適合性評価、知的基盤整備等を一体的に推進する。

達成目標: ○我が国企業の競争優位を強固にする国際標準の確立、産業競争力強化に資する国内規格等の策定、世界的に通用する認証基盤の整備等を通じ、国内外の市場における我が国企業の戦略的な事業展開を促進するとともに、国内外の市場を創出する。

○国民生活の安全と経済産業の基盤を支えるため、計量標準等の知的基盤の整備及び利用促進を図るとともに、計量制度の効果的な運用を行うことで、企業活動等の質を高め、国富の増大を図る。
(METI 政策評価書 施策1-4「基準認証」)

製品等の信頼性の向上を目的とする、**産業標準化法・計量法に基づく登録制度や国際的枠組みに対応した認定制度**について、それらの活用実績を増加させることにより、我が国産業の健全な発展と国民生活の安全に貢献。



経産省と一体となった法令執行等の取組

国の法令業務等への支援

- ▶ **産業標準化法 (JNLA)**
製品性能をJIS試験する事業者を審査・登録し、製品試験の信頼性を確保
- ▶ **計量法 (JCSS、MLAP)**
計測器を校正する事業者等を審査・登録し、計測の信頼性を確保



コンクリート
(建築資材)



抗菌製品



ノギス

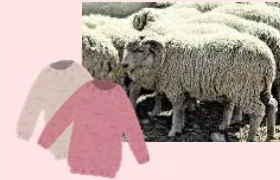


オーディオメーター

産業界と協力して行う取組

新たな認定ニーズへの対応

新しい技術分野や政策・社会ニーズに対応するためのNITE独自の認定制度 (ASNITE) により、事業者の校正、試験能力等の信頼性を確保



エシカルな
繊維製品



輸出向け食品製造
機械の清浄度試験

認定・認証制度を活かした健全で持続性のある産業発展

5. 国際評価技術分野

日本再興戦略（平成28年閣議決定）等に基づき、大型蓄電池システム等の戦略的技術分野で、先進的技術・知見等を活用した**評価技術の開発、国際標準の提案、認証基盤の整備等**を実施。

また、電気保安水準の維持・向上を目指す経産省の政策の下、**行政を技術的に支援する専門機関としての必要な取組や体制整備**を実施。

- メガワット級出力・容量の定置用大型蓄電池システムはスマートグリッドの構築や再生可能エネルギーの導入促進に不可欠なインフラとして期待されている。
- 国産蓄電池システムが価格面で優る国外産に市場競争で勝つためには、安全面・性能面の優位を示す認証取得のための整備の推進が必要。



大型蓄電池システム

- 日本が先行する技術。農業・半導体・洗浄等で活用。
- 信頼性向上、市場拡大のためにも評価技術の標準化が重要。

- 電気保安環境は大きく変化（再エネ発電導入拡大等）。
- 電気保安の水準を維持・向上するため、行政等を技術面で支える機関の整備が急務。

大型蓄電池システム

1. 適合性評価体制の整備・実施



大型蓄電池システム試験・評価施設(大阪)

- ・ 国際規格に準拠した試験所運営
- ・ 個別依頼に応じた試験・評価の実施

2. 国際標準化への取組

- ・ 国際標準、試験・評価方法開発
- ・ 国内審議団体への協力



3. 認証基盤の整備

IEC、JIS、UL等の既存規格に対応した認証基盤の構築

4. 産業界の将来に向けた委員会開催

- ・ 国と、日本の蓄電池産業界の企業が、国産蓄電池システムの国際市場における競争力強化に向けて「蓄電池システム産業の将来に関する検討委員会」を運営
- ・ 本検討委員会の下部組織に「データ利活用WG」を設置し、産業界全体で活用するデータ取得を推進



検討委員会の様子



検討委員会での委員長発言

ファイバブル

- ・ 試験評価法開発
- ・ 国際標準化への協力
- ・ 民間における認証基盤構築の支援



認証
マーク



ファイバブル測定の様子

電気保安

- ・ 事故情報の整理・分析
- ・ 事故実機調査
- ・ 電気事業法に基づく立入検査
- ・ 電気保安のスマート化推進支援



電気保安の対象となる設備の一例

日本企業の競争力強化と世界市場の獲得

電気保安水準の向上

NITEを広く知っていただくために

国民の安全・安心に役立つ情報を届けるべく、SNSや動画配信、NITE講座などを行っています。



Twitter profile for NITE (National Institute of Technology and Evaluation). The profile includes the NITE logo, the name "ナイト (独立行政法人 製品評価技術基盤機構)", and the handle "@NITE_JP". It also features a bio in Japanese, location information (Tokyo), and a QR code for following.



A tweet from NITE (@NITE_JP) dated July 29th. The tweet discusses the danger of children being attracted to light, specifically mentioning a case of a child being attracted to a light bulb. It includes a QR code and a link to the NITE website for more information.

タイムリーな注意喚起情報発信
(例: 子どもに忍び寄る危険)



YouTube video thumbnail for "鷹の爪団とコラボ！「鷹の爪団のNITE刑事(デカ)」全6話を、NITE公式YouTubeチャンネルにて公開(令和3年3月25日)". The thumbnail features the characters from the anime "Tora-san" and a QR code for more information.

NITE講座

皆様の事業に役立ててもらうため、NITEがこれまでに培ってきた知見を紹介するNITE講座を毎年開催しております。

- 製品や化学物質の安全に関する知識
- 信頼性に貢献する認定制度に関する知識
- 微生物やバイオテクノロジーに関する知識
- 蓄電池や電力安全に関する知識





Illustration of a lecturer in a suit pointing at a screen.



ご清聴ありがとうございました
つづいてNICEの説明に移ります

